

へき地・小規模校における体育学習指導の工夫

—— 3年「サッカー」の指導を通して ——

竹富町立上原小学校 漢 那 憲 吉

1. テーマ設定の理由

今回の教育課程の改定で、「自ら考え、主体的に判断し、行動する力を育てる教育」「基礎的・基本的な指導の徹底と個を生かす教育の充実」への方針が打ち出された。体育科においては、「それぞれの運動が持っている楽しさや喜びという運動の特性を明らかにし、この運動の特性に触れるような活動を重視する」ことが強調されている。

それを受けて、小学校中学年のゲーム段階では、ボール運動の特性に触れさせながら基礎になる技能や戦術能力がゲームを通して育つようにしなければならない。

では、こうした「特性に触れる楽しさや喜びを味わわせる」授業を少人数編成の学級においてどのように育成していけばよいのだろうか。

へき地・小規模校の子供達は、幼少時から同じ環境に育ち、遊びも学習もその人数に変化が少なく、他からの刺激が少ない状況下で、児童間に優劣の順序性が自然発生し、互いに競い合い、深め合う学習活動が難しい。また、他者の意見に安易に同調し、自己の意見を自発的に述べられない面なども見られる。そのことは体育の授業にも見られ、互いの力がわかっているのに競走し合う場があまり見られない。

また、チーム編成においてチーム数が2つぐらいしかつくれず、同じメンバーでゲームを進めていくため学習の活性化が難しい。さらに、児童数をもっと少ない学級においては、集団スポーツのゲームそのものの成立が難しく、集団スポーツの特性に触れることが少ない。

こうした課題を解決し体育学習の充実を図るため、隣学年との合同学習や隣接校との集合学習などの方法でその解決を図っている。しかし、このような学習形態も「運動の特性や楽しさを味わわせる」という点においてはまだまだである。

そこで、集団スポーツの中でも多人数を必要とする「サッカー」の指導を通してチーム編成の工夫、ルールの工夫、場の工夫、教具の工夫をおこなうにより、小規模校においても集団スポーツ「サッカー」の運動の特性に触れさせる授業の展開が可能であると考え本テーマを設定した。

2. 研究の仮説

(1) 個を生かす運動の場づくりや、教材・教具の工夫、学習指導の工夫改善を図る事によって運動の特性に触れ集団スポーツの楽しさを味わう学習の展開が図られるのではないかと。

上記の仮説をもとに、その検証を進めていくことにした。

3. 研究の内容

- ・簡易教具の工夫研究をする。
- ・個を生かす運動の場づくりや学習指導の工夫を図る。
- ・チーム編成やルールの工夫

4. サッカー指導に関する基本的な考え方

集団的スポーツは、一人ひとりの技能をもとに数名のメンバーでかかわり合いながら運動をし、得点や勝敗を競い合う特性を持っている。しかし、小規模校や極小規模校などでは、少人数の為その集団スポー

ツの種目によって「その運動の特性」を味わわせるような授業の展開が難しい。また、児童個々の運動の生活経験、興味・関心、体格差など個人差があり、ゲームに飽和状態が早く生まれる。

そこで、本単元を進めていく学習ステップの過程で次のような工夫をすることにより少人数でもサッカーの特性が十分味わえるように授業を進めていきたい。

(1) 場の工夫について

コート設営は体育館と運動場に1面ずつ設営し、導入時と「ねらい1」では体育館のコートを利用する。これは、布ボールを使うため体育館の方がより効果が上がると考えた。

また、サッカーにはじめて触れる児童の意欲を高めるため、ボールにより多く触れ、ボール扱いの技能が高まるようコートを各エリアに分けてみた。

(2) チーム編成の工夫について

「ねらい1」では、1チーム3人編成の3チームのリーグ戦でサッカーの楽しさに触れる。

「ねらい2」では、1チーム5人再編成の2チームの対抗戦でサッカーを楽しむ。

「ねらい3」では、1チーム5人再編成の2チームの対抗戦でサッカーの楽しさを深める。の順序で進めてゆく。

少人数の為、固定したメンバーではすぐに飽和状態になる。そこで、児童個々の運動の生活経験、興味、関心、体格差など個人差に配慮したチーム編成の工夫をする事により学習の活性化を図るようにした。

(3) ルールの工夫について

基本的には子供達同士で決めていくようにする。そのためには話し合い活動が活発でなければ互いに納得したルールはできないと考える。サッカーの基本ルールを知らせながら、場の設定に応じたルールを子供との話し合いの中からきめていく。

(4) 教具の工夫について

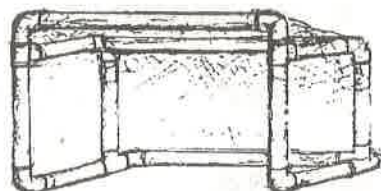
① 布ボール

パッチワークによる布ボールで、低・中学年のゲームなどに使用することにより、ボールに対する恐怖心を取り除くことができる。また、力の差のある男女間でも手加減することなく思いきりゲームを楽しむことができる。



② 簡易ゴール

硬度の塩化ビニールパイプ（水道用VAパイプ）で制作されたゴールで軽量で移動しやすく、安全である。シュートの醍醐味が味わえるよう形をより本格的な物に近づけるようにした。



③ ペットボトルピン

空いたペットボトルに3分1ほど水か砂を入れる。これは、学習の導入時のゲームに利用する。ボーリングのピンのように立て、布ボールをキックしてピンを倒して得点を競い合う。ゲームを楽しむとともにボールを正確にキックする技能を養うのに良い。



研究の実際

竹富町立上原小学校 3年1組
男子 5名 女子 5名 計10名
指導者 漢 那 憲 吉

1. 単元名 サッカー

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

2つのチームが入り交じってボールを奪い合い、主に足を使ってパスやドリブルなどで互いに相手の守りをかわしたりして、ボールをゴール近くに運び、シュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

(2) 子供の立場から見た特性

- ・ゲームに勝つと楽しい。
- ・シュートが入ると楽しい。
- ・自分にパスがくると楽しい。
- ・みんなと仲良くできたとき楽しい。
- ・シュートが入らないと楽しくない。
- ・パスがこないと楽しくない。
- ・ボールが当たると痛い。
- ・失敗すると文句が言われるのがいや。

3. 児童の実態

男女共ども活発で運動することは大好きである。また、近年発足したJリーグによって、サッカーというゲームに興味・関心がある児童が多い。しかし、少人数のため集団スポーツに触れる機会が少ない。

自我意識の芽生えにより勝敗に対するこだわりが強くなり見られるとともに、不公平に対する意識は厳しい。また、係り、役割分担において自分の意見が通らない場合、活動が停滞する場面がよく見られる。

ボール扱い、技能については部活動に約半数（4名）の子が参加しているが、3年生ということもあり思い通りにボールを扱える段階に達していない。

よって、授業づくりのポイントとしては、ルールの工夫と話し合い活動の充実、技能面で活動の停滞がちな女子への配慮をしながら授業を進めていきたい。

4. 学習のねらいと道筋

(1) 学習のねらい

ねらい1 ルールやチームの仲間になれ、布ボールを使って今できるパスやドリブルで、ゲームを楽しむ。

ねらい2 ボール扱いや攻め方、守り方を工夫し、布ボールを使ってゲームを楽しむ。

ねらい3 攻め方、守り方を工夫し、ゴムボールを使ってゲームを楽しむ。

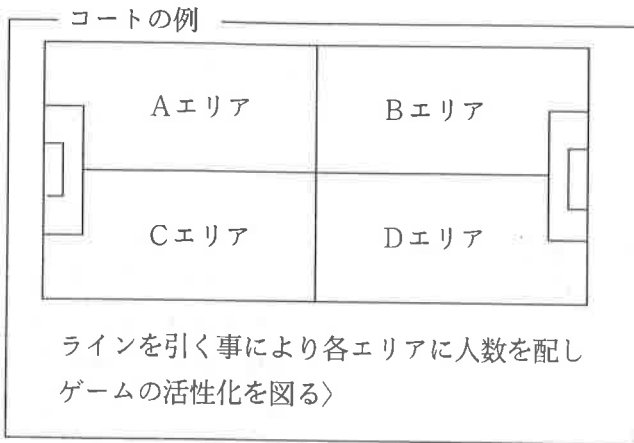
5. 学習の進め方と時間配分

時間	オリエンテーション		ねらい1			ねらい2			ねらい3		11
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ねらい	学習の進め方や準備をする		布ボールを使用し、サッカーの特性に触れる			攻め方、守り方を工夫し対抗戦でサッカーを楽しむ			ゴムボールを使用してサッカーを楽しむ		
10	チーム編成 学習カードの使い方		・学習の仕方を確認する ・めあてを確認する			・学習の仕方を確認する ・めあてを確認する			・学習の仕方を確認する ・めあてを確認する		
20	・ピンたおしゲーム ・ドリブルゲーム		・基本の練習をする ・ゲーム（リーグ戦）をする			・ゲーム（前半）をする ・作戦や練習をする			・ゲーム（前半）をする ・作戦や練習をする		
30	・パスゲーム ・シュートゲーム		・学習のまとめをする			・ゲーム（後半）をする ・学習のまとめをする			・ゲーム（後半）をする ・学習のまとめをする		
40	学習のまとめ		学習のまとめ			学習のまとめ			学習のまとめ		

6. 学習指導の展開

オリエンテーション 45 × 2	<p>① 学習のねらいと道筋、および時間配分について理解させる。</p> <p>② チーム編成と役割分担を決める。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>ねらい1</td> <td>1チーム3人男女混合の3チーム</td> </tr> <tr> <td>ねらい2</td> <td>1チーム5人男女混合の2チーム</td> </tr> <tr> <td>ねらい3</td> <td>1チーム5人男女混合の2チーム</td> </tr> </table> <p>③ ルールやマナーについて話し合いをさせ、自分達にあったルールを決め、共通理解を図る。</p> <p>④ 学習カード、資料の使い方を知る。</p> <p>⑤ 布ボールを使った色々なゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルたおしゲーム ・ドリブルゲーム ・パスゲーム ・シュートゲーム <p>⑥ 試しのゲームをする。</p>	ねらい1	1チーム3人男女混合の3チーム	ねらい2	1チーム5人男女混合の2チーム	ねらい3	1チーム5人男女混合の2チーム	<p style="text-align: center;">用具・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コートは体育館の1面を使用 ・布サッカーボール（4個） ・3号ゴムサッカーボール（10個） ・得点板 ・チーム用ゼッケン（人数分） ・ストップウォッチ ・作戦板、練習方法のパネル ・エスロンパイプ製 ミニサッカーゴール ・旗立て台
	ねらい1	1チーム3人男女混合の3チーム						
ねらい2	1チーム5人男女混合の2チーム							
ねらい3	1チーム5人男女混合の2チーム							
学 習 活 動	指 導							
<p>ねらい1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ルールやチームの仲間になれ、布ボールを使って今できるパスやドリブルでゲームを楽しむ。</p> </div> <p>① コートをつくる。（体育館に一面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で体育館にゴールやコーナーなどを設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が協力してコートを作るようにさせる。 							

な
か
45
×



3

② 準備運動をする

- 布ボールに慣れるようチームで準備運動をする。
- 1チーム3人編成で3チームを作る。

③ チームや個人のめあてを確認する。

チームのめあて例

- 文句をいわず仲良くしよう。
- 勝つようがんばろう。
- ドリブルが上手にできるようにする。
- パスが上手にできるようにする。

- コートは体育館の床面の大きさに合わせて設営するようにさせる。

- チームリーダーを中心に活動できるようにさせる。
- 教師が中心となってチーム分けをする。
- めあてがチームや個人の力に合っているか確認する。

④ 基本的な技能の練習をする。

- パス、ドリブルなどの基本の練習をする。
- 資料やパネルなどを参考に練習をする。
- チームごとに練習する。

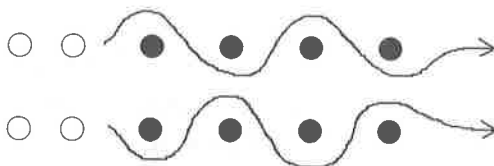
練習の例(個人練習、チーム練習)

• パスの練習(2人で)

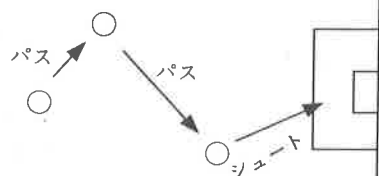


• ドリブルの練習(チームで)

コーンをおいてする。



• シュートの練習



- 必要に応じて用語の説明をする。
 - インステップキック
 - インサイドキック
- 練習の内容によって資料を使うことや用具を利用することを助言する。

- パスの仕方やドリブルの基本ができるようにさせる。
- 基本的なルールも指導するようにする。

- ⑤ ゲームをする。(リーグ戦)
- 布ボールを使用してゲームをする。
 - ゲームの時間配分

前半	話しあい	後半
5分	2分	5分

審判、得点係

- **第1ゲーム** Aチーム対Bチーム (Cチーム)
 - **第2ゲーム** Aチーム対Cチーム (Bチーム)
 - **第3ゲーム** Cチーム対Bチーム (Aチーム)
- ⑥ 話し合いをする。
- 前半のゲームの反省をし、どうしたらうまく行くか話し合いをする。
 - 学習カードに話し合いの内容をメモする。
- ⑦ ゲームをする (後半5分)
- 話し合いを生かして、攻め方や、守り方を考える。
- ⑧ コートの片付けをする。

• ゲームの組み合わせは前もって決めておく。

• ゲームのないチームが審判や得点係りなどをする事を知らせる

• ルールやマナー面について観察し場面に応じて指導する。

• 個人プレーやゲームに参加していない子がいるか確認する。

• 話し合いの内容が個人のミスや勝敗にこだわっていないか観察し、適宜指導する。

- ⑨ 1時間の学習の反省をする。
- 学習カードをもとに学習の反省をまとめる。
 - チームごとにめあての達成やゲームの内容について反省を発表する。

• 自チームが相手チームに対してマナーが守られたか。

• 安全に気を付け楽しくできたか。

ねらい2

ボール扱いや攻め方、守り方を工夫し、布ボールを使ってゲームを楽しむ

な
か
45
×
3

- ※ コートは運動場に設営する。
- ① 準備運動を含めた簡単な練習をする。
- 布ボールに慣れるようチームで準備運動をする。
 - ゴムボールも使って練習する。
- ② チームや個人のめあてを確認する。
- 1チーム5人に再編成して2チーム (男女混合)
 - 布ボールを使用してゲームをする。
- ③ ゲームをする (前半)
- 布ボールを使ってゲームをする。
- ゲームの時間配分

前半	話しあい と練習	後半
12分	10分	12分

• 準備運動にゴムボールを使用しても良い事を助言する。

• 「めあて」が適切かどうか確認し必要に応じて「めあて」の修正を助言する。

• 子供たちと教師が話し合って編成する。

• ルールやマナー面について観察し場面に応じて指導する。

• 安全面に気をつけて活動しているか観察する。

- ④ 話し合いをする。
 - ・前半のゲームの反省をし、どうしたらうまく行くか作戦板や資料を利用し話し合う。
 - ・攻め方や、守り方の方法を考え、練習の方法を工夫する。
- ⑤ 練習をする。
 - ・話し合いをもとにチームや個人で練習する。
- ⑥ ゲームをする。(後半12分)
 - ・前半のゲームの反省や話し合いを生かしてゲームをする。
 - ・工夫した攻め方、守り方やボール扱いを生かしてゲームをする。
- ⑦ あと片づけをする。

- ・話し合いが一人の意見に片寄っていないか観察し状況に応じて助言する。
- ・話し合いの内容が個人のミスや勝敗にこだわっていないか観察し、適宜指導する。
- ・練習はチームの話し合いをもとにして進めるよう必要に応じて助言する。
ドリブル、パスの基本ができているかチェックし必要に応じて助言する。
- ・練習の方法や技能については資料を参考にすることを知らせる。
- ・チェックカードをもとにゲームの盛り上がりをチェックする。

- ⑧ 1時間のまとめをする。
 - ・チームで次の事を話し合う。
 - ・工夫して練習した事が上手にでき、楽しくできたか。
 - ・安全に気をつけ、楽しくゲームができたか。

- ・話し合いの内容が個人のミスや勝敗にこだわっていないか観察し、適宜指導する。
- ・楽しかった事を発表する。

ねらい3

ボール扱いや攻め方、守り方を工夫し、ゴムボールを使ってゲームを楽しむ

※コートは運動場に設営する。

- ① 準備運動を含めた簡単な練習をする。
 - ・ゴムボールに慣れるようチームで準備運動をする。
 - ・布ボールも使って練習する。
- ② チームや個人のめあてを確認する。
 - ・1チーム5人に再編成して2チーム(男女混合)
- ③ ゲームをする。(前半)
 - ・ゴムボールを使ってゲームをする。
 - ・ゲームの時間配分

前半	話しあいと練習	後半
12分	10分	12分

- ・コートは前もって準備しておく。
- ・準備運動に布ボールを使用しても良い事を助言する。
- ・「めあて」が適切かどうか確認し必要に応じて「めあて」の修正を助言する。
- ・子供達だけの話し合いでチームを編成する。
- ・ルールやマナー面について観察し場面に依りて指導する。
- ・技能の高まりと場があるか確認し、必要に応じて助言する。

<p>④ 話し合いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半のゲームの反省をし、どうしたらうまく行くか作戦板や資料を利用し話し合う。 攻め方や、守り方の方法を考え、練習の方法を工夫する。 <p>⑤ 練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いをもとにチームや個人で練習する。 <p>⑥ ゲームをする。(後半12分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 前半のゲームの反省や話し合いを生かしてゲームをする。 工夫した攻め方、守り方やボール扱いを生かしてゲームをする。 <p>⑦ あと片づけをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの内容が個人のミスや勝敗にこだわっていないか観察し、適宜指導する。 練習はチームの話し合いをもとにして進めるよう必要に応じて助言する。 ドリブル、パスの基本ができているかチェックし必要に応じて助言する。 練習の方法や技能については資料を参考にすることを知らせる。 チェックカードをもとにゲームの盛り上がりをチェックする。
<p>⑧ 1時間のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> チームで次の事を話し合う。 工夫して練習した事が上手にでき、楽しくできたか。 安全に気をつけ、楽しくゲームができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの内容が個人のミスや勝敗にこだわっていないか観察し、適宜指導する。 楽しかった事を発表する。

<p>まとめ 25分</p>	<p>① 学習のまとめをする。</p> <p>学習カードをもとに次の事を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカーのどんなところが楽しかったか。 ゲームや練習をみんなと協力してできたか。 安全に気をつけて活動できたか。 学習を終えた感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの記録を元にまとめをする
--------------------	--	--

8. 評価 ○は教師評価の時間

オリエンテーション		ねらい1			ねらい2			ねらい3				
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
10	○ 実態把握		形成的評価			形成的評価			形成的評価			総括的 評価 まとめ
30	診断的評価											
自 己 評 価												

診断的評価

- ① アンケート調査、質問等を通して関心・意欲、経験など把握する。
- ② ゲームを通して技能のレベルを評価する。
- ③ 試しのゲームを通して、協力やゲームや練習の過程を通して次の評価をする。

形成的評価

- ① 勝敗にかかわらずサッカーを楽しむ事ができたか。
- ② 準備やかたづけをみんなと協力してできたか。
- ③ 進んで話し合いに参加していたか。
- ④ 勝ち負けを素直に認める事ができたか。
- ⑤ 資料を活用できたか。
- ⑥ めあてをたてる事ができたか。

総括的評価

児童の学習カードの記録、教師のチェックカードの記録、事後アンケート等の資料をもとにサッカーに対する学習の取組みがどうであったかを評価する。

9. 研究のまとめ

小規模校の子供達にいかにして集団スポーツ（サッカー）の特性に触れさせるかということで仮説を立て、研究実践を進めてきたが、次のような成果と課題を列記して研究のまとめをしたい。

成 果

- ① ボールに対して恐怖感を持っていた児童も、布ボールの使用によってサッカーの特性を味わわせる事ができた。
- ② チーム編成の工夫によって少人数でもサッカーを楽しむ事ができた。
- ③ 簡易教具の工夫によって、体育館の中でもミニサッカーができた。

課 題

ルール、チーム編成、教具等を工夫しサッカーのゲームを仕組んだが、正式なルール（人数）でのサッカーゲームをいかにしてより多く体験させるか。

チーム学習カード 年 月

学習のねらい1

ルールやチームのなかまになれ、布ボールを使っていまできるパスやドリブルでゲームを楽しむ。

チームめあて

ゲームのけっか	対
---------	---

チームの反省

きょうのめあてがたっせいできましたか	できた	
	もうすこし	
	できなかった	
安全に気をつけ ルールや約そくがまもれましたか。	できた	
	もうすこし	
	できなかった	
しっばいした友だちにもんくをいわず 仲よくできましたか。	できた	
	もうすこし	
	できなかった	
みんなで協力して、じゅんびやあと片 づけができましたか。	できた	
	もうすこし	
	できなかった	
れんしゅうやゲームの工夫はできましたか	できた	
	もうすこし	
	できなかった	

<p>チームのひとこと</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	<p>せんせいから</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---	---

学習反省カード

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
今日の学習を終わってどうしたか。	次がまちどおしい											
	またしたい											
めあてにむかって練習しましたか。	もうしたくない											
	何回も練習した											
友達におしえたりはげましたりしましたか。	だいたいした											
	あまりしなかった											
よくできた	よくできた											
	すこしできた											
安全に気をつけて運動ができましたか。	できなかった											
	よく気をつけた											
ルールや約束が守れましたか。	少し気をつけた											
	できなかった											
よく守れた	よく守れた											
	少し守れた											
チームの話し合いで意見がいえましたか。	できなかった											
	よくいえた											
みんなと協力して準備やかたづけができましたか。	あまりいえなかった											
	いわなかった											
よくできた	よくできた											
	あまりできなかった											
できなかった	できなかった											
	できなかった											